

# 中日ニュース

シネスコ版

39. 6. 12

高新=ユース No. 378

新愛媛=ユース No. 206

## No. 543

### 一、穴居人生

—宮城

人工衛星が飛び交う宇宙時代に二千年前の古代人がつくった洞窟で文明の世に背を向けて悠然と暮らしている人達がいます。

田植えも終った宮城県名取郡岩沼町。ここ朝日山腹にはたくさんの「エゾ穴」がある。寒河江さん夫婦はじめ五人が原始人そこのけの生活をしているのです。月々の生活扶助金、糧の流浪生活は何の不自由もないと悟り切ったようす。セチ辛い世の中でちょっと羨らやましくもなる穴居生活です。

アイモ風土記

### 一、港「ヨコハマ」

—神奈川

港ヨコハマ、人口百六十万、なにやらエキゾチックな響をもたらしにくれる大都市。

「西洋」はこの町から入ってきました。かつては生糸貿易で栄え、今、京浜工業地帯の一角をになう港ヨコハマは国鉄根岸線の開通とともに大臨海工業地帯を造成しつつあり、工業貿易港としてのていさいを整えつつあるのです。

この港ヨコハマに生糸取引一筋に生きてきた式村さんは七十四才。いまも「売った買った」と元氣いっぱい。この道五十二年のキャリアを誇っているのです。

かつて生糸商人として栄華をきわめた人たちも、戦後の化繊の洪水の前にあえなく押し流され、生糸商品取引きの仲買人として生活をたてている人達が多いのです。式村さんもその一人、華やかだった昔をしのびながら今日も場に立つのです。

変貌する横浜、その中で四角くとざされた取引所、かつての生糸商人の熱と意気とが虚しく火花を散らすのです。

工業化をいぞぐ横浜に、「生糸」にかけるという情熱、それは港ヨコハマから失われようとする一つの大きい情熱なのではないでしょうか。

447

178

6250R